

校訓	自分を育て 自分を生きし 社会を明るく	令和7年度学校だより <b>「天の子」</b> 第13号	発行日	令和8年3月10日
教育目標	夢と誇りのある生徒の育成 ～自ら学び、考え、主体的に行動する、心豊かな生徒の育成～		発行者	伊丹市立天王寺川中学校 校長 永嶺 香織

## 卒業に向けて

3年生が、もうすぐ卒業を迎えます。3年間の思い出がそれぞれの心の中に駆け巡っていることでしょう。

9日（月）、生徒会主催「3年生を送る会」が行われました。本来は、在校生みんなが卒業式に出席し、卒業生の門出をお祝いしたいところですが、在校生が出席することができないため全員で卒業を祝う会として開かれました。

在校生の言葉に続き、卒業生を送る歌「そのままの君で」の合唱が贈られました。そして、3年生からは在校生へのメッセージと「正解」の合唱を贈ってもらいました。卒業生への感謝の気持ちがこもり、3年生と1・2年生がお互いの気持ちを伝え合える温かい会となりました。

また、放課後は卒業生代表から全職員にお礼の挨拶をいただきました。記念品と職員それぞれに宛てられた手紙もいただきました。私がいただいた手紙には、式で話したお話への感想、朝のあいさつ、日々の学校生活で感じてくれたことなどが記されていました。私にとって一生の宝物となる言葉が続いています。この天王寺川中学校で縁あって出会った私たち。たくさんの思い出をつくることができました。この出会いに心から感謝しています。

さて、3月16日は、第55回卒業証書授与式です。3年生にとっては、中学校の課程を修了するという大きな節目を証書の授与をもって迎えます。また、中学校課程を修了するということは、義務教育の修了をも意味します。これからは自分で考え判断し行動することがますます求められてくる立場として、しっかりとこの節目を迎えて、新たなステージで頑張ってもらいたいと思います。また、この日を迎えるまで、保護者や家族のみなさんはもちろんのこと、地域の方々などたくさんの方にお世話になっています。自分の成長の支えになってくださったすべての方に感謝して卒業式を迎えてほしいと思います





### 〈3年生を送る会での卒業生からのメッセージ〉

1・2年生のみなさん。今日は私たち3年生のために、3年生を送る会を開いていただき、ありがとうございます。私たちはあと1週間で、天王寺川中学校を卒業します。

私たちが、この3年間で成長できたのは、同級生だけでなく1・2年生のみなさんが支えてくれたおかげです。特に、陸上部の後輩たちは、入部した時から前向きで、すぐに先輩である僕たちにも心を開いてくれました。

コンマ数秒を縮めるために努力し続ける姿は、僕自身の大きな刺激になりました。部活動を通して学んだことは、「今という時間に100%の努力を注ぐこと」です。手を抜いてしまえば勝っても心から喜ばず、負けても本気で悔しがれません。全力で向き合うことで、それがかけがえのない思い出になります。

学校行事では、3学年全員が力を合わせ、いろいろな行事を乗り越えてきました。また、委員会活動では、協力して取り組む1・2年生のみなさんの姿を見て、私たちも「もっと頑張ろう」と勇気をもらっていました。

これからは、1・2年生のみなさんが学校の中心になります。不安もあると思いますが、これまでの学校生活で積み重ねてきた経験を生かし、今度は皆さんの手で新しい天中をつくりあげていってください。私たちは心から応援しています。

みなさんが、それぞれの場所で「やり切った」と胸を張れる日々を過ごせることを願っています。今まで本当にありがとうございました。

3年生代表 Iさん Tさん



3年生から、卒業記念品として西門に掲示板を設置していただきました。これから、たくさんの天中生がこの掲示板に迎えられ、見送られ、学校生活を送ります。大切に使用させていただきます。本当にありがとうございました。

天王寺川中学校の取組や子どもたちの様子をホームページに載せています。

[https://www.itami.ed.jp/school/Jrhhigh/jr\\_tenn/index.html](https://www.itami.ed.jp/school/Jrhhigh/jr_tenn/index.html)

※右のQRコードをお読みいただくと、天王寺川中学校のホームページをご覧になれます。

